

# 地域力を活用して学校安全を確保する取組 (周南市立勝間小学校)

## 〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を行うことにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



## 取 組 内 容

1 実施期間：平成27年6月2日～平成28年1月26日

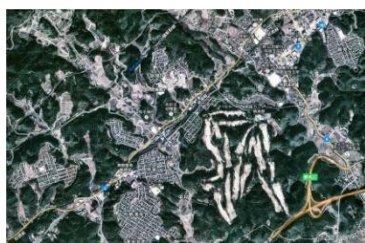
2 実施校：周南市立勝間小学校（校長：松村 伸夫）

### 3 取組内容

#### 交通安全教育の実施

##### 《交通安全講話の実施》

平成27年6月2日、目山通学路安全対策アドバイザーから、全校児童を対象とした通学路の危険箇所の状況や登下校時の交通ルール・マナーについての交通安全講話を行いました。その中で、自転車のハンドルの高さが、ちょうど1、2年生の顔の位置にあり注意が必要など、様々な視点から交通安全についてのご示唆をいただきました。



〔勝間小学校区の様子〕



〔交通安全講話①〕



〔交通安全講話②〕

#### 通学路の安全マップの作成

##### 「安全について考えよう！ ～かつまっぷ～」

4年生（71名）による通学路の安全マップづくりを行いました。

##### 《事前準備》

まず、実地調査に向けて、同じ通学路を通る児童でチーム分けを行い、日頃感じている危険な箇所を確認したり、役割分担を決めたり、どのようなコースで回るのかを実地調査の計画を立てました。そして、子どもたち自身でプレ実地調査を行いました。



〔実地調査の計画〕



〔プレ実地調査〕



〔プレ実地調査の反省〕

### 《実地調査①》

9月29日、市原・吉川両通学路安全対策アドバイザーをはじめ保護者や見守り隊、地域の人々合計30名の協力を得ることができました。11グループに分かれ、1グループに2、3名の大人を付き添っていただき、安心して調査することができました。



〔通学路安全対策アドバイザーからのお話〕



〔よろしく、お願いします〕



〔いざ、出発〕

### 《実地調査②》

11グループに分かれ、調査の中では、地域の方にインタビューをして日頃の状況をお聞きするなど、子どもたち自身では気付かない危険な箇所にも目を向けることが出来ました。

また、危険な所、安全な所を子ども達で話し合いながら見つけて、写真を撮っていきました。白地図は、子どもたちならではの安全な箇所、危険な箇所の付箋でいっぱいになりました。



〔地域の方にインタビュー〕



〔話し合いをする子どもたち〕



〔付箋でいっぱいになった白地図〕

### 《実地調査の振り返り》

実地調査を終えて帰ってくると、子どもたちで自然と振り返りが始まりました。

子どもたちの感想の中には

「自分が住んでいる近くにもこんなにたくさん危険な所があるとは思わなかった。」

「今まで安全だと思っていた場所の中に危ない場所がいっぱいあった。」

「勝間小学校に通っている人のために危険な所、安全な所をわかりやすくまとめた『かつまっぷ』を作りたい。」

と様々な感想が出てきました。

子どもたちが、自らの手で通学路安全マップ「かつまっぷ」を作りたいという意欲が高まってきました。



〔振り返り①〕



〔振り返り②〕

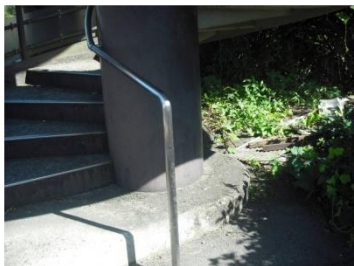
## 《子どもたちの見つけた危険箇所》

子どもたちの目線で色々な危険箇所が、見つかりました。

危険箇所①：陸橋の柱の奥にあるスペースには、不審者が潜んでいるかもしれません。

危険箇所②：見通しの悪い交差点です。左側から自転車が突然出てくるかもしれません。

危険箇所③：足元の「つまずきそうな穴」やちょっとした段差やみぞ等です。



〔危険箇所①〕



〔危険箇所②〕



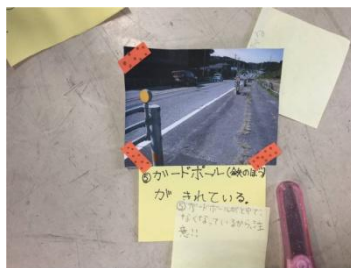
〔危険箇所③〕

## 《「かつまっぷ」の完成》

実地調査を終了後、調べたことを子ども達で通学路安全マップ「かつまっぷ」にまとめる作業に入りました。写真とコメントを貼り合わせるなどして、一目でどんな場所が危険かが分かるように子ども達で工夫をしていき、「かつまっぷ」を作成しました。



〔まとめる作業〕



〔写真とコメントの貼り合わせ〕



〔完成した「かつまっぷ」〕

## 《完成した「かつまっぷ」の発信》

### ① 3年生への発表

完成した「かつまっぷ」を3年生に発表することになりました。

より分かりやすく伝えるため、子どもたちのアイデアで、発表の中に危険な箇所、安全な箇所について劇を交えながら説明したり、実地調査で取ってきた写真を活用してオリジナルのKYT（危険予測学習）クイズを出したりしました。

それぞれのグループでアイデアあふれる発表をし、3年生も真剣に楽しく発表を聞いていました。



〔3年生への発表〕



〔子どもが実演した劇〕



〔KYTクイズ〕

## ② 地域への発信

毎年1月上旬に開催される地域コミュニティ主催の「ふれあい祭り」にて、地域の方に発表することとなりました。

3年生への発表後、それぞれのチームで発表方法を見直し、もっと良い発表にするために練習を重ねました。その中で来てくれた方にもっと分かりやすく説明するために、発表の中に「体験コーナー」という活動を付け加えることとしました。

「不審者に声をかけられた時の対応」や「見通しの悪い交差点の安全な歩き方」、「歩道に車が止まって通行が困難な時の対応」についてなど、チームごとに体験コーナーを用意しました。

完成した「かつまっぷ」は、写真に撮って印刷し、学校だよりといっしょに、関係する自治会にも配布し回覧してもらいました。

また、学校のウェブページ (<http://www.shunan.ed.jp/katsumasho/granddesign.html>) にも掲載し、いつでもだれでも見るできるようになっています。



[ふれあい祭りでの発表]



[ふれあい体験コーナー]



[学校 HP からも閲覧可能]

## 通学路の合同点検

平成27年10月8日、学校と関係機関（警察、道路管理者等）、地元関係者による通学路合同点検を実施しました。

ここでは、平成24年の緊急合同点検で指摘された箇所を中心にその後の改善状況や現状を確認し、関係者で情報を共有するとともに、今後の改善への見通しや方法について協議を行いました。



[合同点検の様子]

## 4 成果と今後に向けて

### 《成果》

- 子どもたちが、自分たちの住む地域の安全について自らの問題として捉えるようになった。  
(安全意識の高揚)
- 地域の人と一緒に活動することで、地域の一員としての気持ちが育まれてきた。  
(地域への所属感)
- 自分たちにもできることがあり、それが地域をよくすることにつながるという経験を通して充実感を味わうことができた。  
(地域貢献)

### 《今後に向けて》

- 交通安全だけでなく、生活安全（不審者）や災害安全（自然災害）も含めて、マップの領域や範囲を今後広げていきたい。
- 地域からは、防災に関する活動を子どもたちや保護者と合同で実施したいという要望も聞かれ、今後、学校が核となり地域の声を生かした継続的な活動を進めていきたい。